



プレスリリース

速報版

GENIVI アライアンス、メンバー・コンプライアンス・プログラムを発表

5つの GENIVI 対応ソリューションが承認される

サンラモン(米カリフォルニア州)2011年8月2日 - オープンソースの車載用インフォテインメント (IVI: In-Vehicle Infotainment) のリファレンス・プラットフォームの開発と導入を推進する自動車及び家電業界団体である GENIVI アライアンスが、今日、新設されたコンプライアンス・プログラムをメンバー企業に発表しました。この画期的プログラムは、さまざまなメンバーを幅広く代表する GENIVI のエキスパート・グループが、詳細にわたる技術的要件を定義するために行った 14 ヶ月に及ぶ念入りなリサーチと調査の賜物です。

GENIVI メンバーのカノニカル、メンター・グラフィックス、モンタビスタ、ウィンド・リバー、リナックス・ファンデーションらは GENIVI 対応企業として最初にプログラムを承認し、GENIVI 対応製品を要求する OEM の見積依頼に対応する資格を得ました。

「このプログラムは連携要件、それらの要件を満たす特定製品、パッケージ化された、再利用可能なプラットフォームなどの、GENIVI 内の自然な流れを統合するものです」と GENIVI アライアンス常務取締役の Steve Crumb 氏は語ります。「このプログラムは、準拠したソフトウェア・ソリューションを提供しようとしているメンバーに、何が要求されているのかを明確にしてくれるのです。」

「ジャガー・ランド・ローバー社や他の GENIVI メンバーの自動車 OEM は、今後の IVI システムに対する見積依頼(RFP)に、GENIVI 対応製品を指定しています」と、ジャガー・ランド・ローバー社のインフォテインメント指揮者であり、GENIVI 副会長の Matt Jones 氏は語ります。「これらの RFP に対応するには、ソフトウェア・サプライヤーは GENIVI 対応の必要条件を満たす製品やサービスを生産することができるということを明示しなくてはなりません。」

またこのプログラムは、GENIVI プラットフォームを使用することによってもたらされる恩恵を供給する基盤となります。その恩恵とは：市場投入までの時間を早め、開発コストを劇的に削減し、規約の透明性をもたらし、ソリューションの統合とカスタマイズのオプションを広げ、車両の型式やモデル間の IVI の互換性を増大させることです。

複数のものが対応できるだけでなく、このプログラムはメンバー企業が異なるバージョンのコンポーネントを提供することを奨励して多様性を生み出し、特定の製品や複数の製品を、他の従順基準を満たすオープンソースや独占所有権のあるものと交換できるという多様性をもたらしています。

GENIVI コンプライアンス・プログラムと GENIVI 対応製品についての詳細は、
<http://www.genivi.org/compliance> にてご覧いただけます。

GENIVI アライアンスについて

GENIVI アライアンスは、オープンソース開発の車載用インフォテインメント(IVI: In-vehicle Infotainment)の導入を推進する非営利団体です。GENIVI は、要件を整備し、リファレンス実装を進め、認証プログラムを提供し、活気あるオープンソースの IVI コミュニティを育成することによってアライアンスの目的を遂行しています。GENIVI の取り組みにより、開発サイクルの短縮、製品の市場投入の迅速化、IVI 機器やソフトウェアの開発における企業のコスト削減に繋がります。GENIVI (www.genivi.org) はカリフォルニア州 San Ramon(サンレイモン)に本部を構えています。

###

報道関係者お問い合わせ先－GENIVI:
Craig Miner (クレイグ・マイナー)
1 248.840-8368
Cminer1@att.net

GENIVI アライアンス対応製品情報

リナックス(Linux)ファンデーション MeeGo IVI プロジェクト

MeeGo IVI は、リナックスで構築された次世代車載インフォテインメント・システムのための真のオープン・ソース・ソリューションです。接続されたモバイル機器を念頭におき、高速起動、出力効率、小型化、ネットワークの構築、テレフォニ・スタックなどの最も重要な機能を備え、ゼロから設計されました。そのインフラ構築とアプリケーション開発 SDK(ソフトウェア開発キット)により、インテル®アーキテクチャや ARM などのさまざまなハードウェア・プラットフォーム上の開発の活性化に理想的なプラットフォームを提供しています。OEM や一流企業、OSV などは、オープンで維持管理されているプラットフォームを活用することで投資の見返りを得ると同時に MeeGo IVI プラットフォームをそれぞれの要求条件に拡張・修正できます。MeeGo IVI は、SystemD、BTRFS、Wayland などの最新かつ実績あるリナックス技術を即時生産できるプラットフォームに統合し、年 2 回公開するという計画に追随しています。

メンター(Mentor)内臓 IVI ベース・プラットフォーム

メンター内臓 IVI ベース・プラットフォームは、車載インフォテインメント・ソフトウェア開発のための GENIVI 対応基盤を提供します。IVI ベース・プラットフォームは、リナックスや関連ドライバーだけでなく、ライブラリ、システム基盤、管理コンポーネントのあるグラフィックス、通信、マルチメディアのミドルウェアを一体化しています。メンター内臓の開発ツールと専門家サービスを組み合わせることにより、自動車 OEM やそのサプライヤーは、オープンソース・ソフトウェアに次世代の IVI システムを構築する総合的ソリューションを迎えることとなります。メンター内臓 IVI ベース・プラットフォームは、インテル®アーキテクチャと ARM Cortex アーキテクチャで有効です。

モンタビスタ(MontaVista)車両技術プラットフォーム(ATP)

モンタビスタの 10 数年の内臓リナックスの経験を生かし、モンタビスタ車両技術プラットフォーム(ATP)にはグラフィックス、ビデオ、サウンド、USB、ブルートゥース、位置情報サービス(LBS)、セキュリティー、カスタマイズ可能な UI などたくさんの強化フレームワークが含まれています。モンタビスタ ATP は、ARM やインテル® Atom™ベースのアーキテクチャに基づく厳選された自動車特有のプラットフォームにおいて、パフォーマンス、超高速起動、パワーマネージメント機能に非常に適応しています。

モンタビスタ ATP に含まれる基幹システム: 高速起動、高性能、パワーマネジメント機能及びセキュリティ・オプション付のリナックスベース・GENIVI 対応プラットフォーム、総合的ネットワーク及びインターネット・サポート、オーディオ・ビデオ用マルチメディア機能、ブルートゥースや API の消費者装置の統合、サプライヤー特定の UI カスタマイズ機能と完全統合されたアプリケーション開発用ツールなど。

ウブントゥ(Ubuntu) IVI リミックス

ウブントゥ IVI リミックスは、IVI システムのような次世代インターネット接続機能内蔵機器に適合するウブントゥ技術のサブセットであるウブントゥ・コアに基づいています。インテルと ARM ベースのマイクロプロセッサに対応し、ソフトウェア開発が簡単にどちらかのアーキテクチャを利用しているプラットフォームを対象とするようにしています。

ウブントゥ IVI リミックスは、ユーザーが世界中どこからでも個人的メディアにアクセスしたり、音楽を流したりすることができるパーソナル・クラウド・サービスであるウブントゥ・ワン(Ubuntu One)もサポートしています。ウブントゥ・ワンの API は完全にオープンであるため、開発者が高度な機能を IVI ソリューションに供給するための技術や今後のデザインに対するイノベーションを利用することを許しています。

ウインド・リバー(Wind River)インフォテインメント用プラットフォーム

ウインド・リバーのインフォテインメント用プラットフォームは、車載インフォテインメント(IVI)デバイス用のソフトウェア・プラットフォームです。自動車用品メーカーにパワフルで信頼性のある IVI デバイスの基盤や国際的レベルの商業的サポートとサービスを提供することにより、ウインド・リバーは顧客に開発時間とコストを削減させ、そして IVI 製品を差別化したり市場投入までの時間を短縮させる技術に集中することができます。ウインド・リバーは GENIVI アライアンスの創立会員で、この協会での重要な役割を果たしています。重要な自動車のミドルウェアとハードウェアの統合コンポーネントの開発、統合、試験と貢献を行っています。ウインド・リバーの強い自動車専門知識とイノベーションとで、OEM や世界中の一流企業サプライヤーは、インテル®と ARM の両アーキテクチャーをサポートする最先端で実績のある自動車技術とサービスを提供してもらう点で、長い間ウインド・リバーに頼ってきました。